平成 22 年度　社会福祉法人幸清会・社会福祉法人大滝福祉会

合同新人職員研修を終了

本年度、両法人に採用された新人職員の研修が、3 月 29 日から 4 月 4 日までの一週間、法人の研修施設「高齢者ケア研修センター財田の杜」（一部、ふる里の丘総合福祉館にて）で開催されました。
（※研修カリキュラム別紙参照　3ページへ）

【受講者の内訳】

◎配属先		◎職種	
☆特別養護老人ホーム	１５名	☆ケアワーカー（介護職員）	１５名
☆介護老人保健施設	２名	☆理学療法士	１名
☆軽費老人ホーム	１名	☆栄養士	２名

研修初日は、緊張した面持ちで望んだ職員も、日を増すごとに交流を深め、仲間意識も芽生えてグループワークや演習、実技などで互いに助け合う姿も設けられ、

研修最終日には、大久保理事長より激励の言葉と修了証が個々に渡され、配属先施設へ戻られました。

研修の講師役は、各施設の管理者や介護支援専門員、介護主任や理学療法士、臨床心理士、また、外部からも講師を招いて講義や演習及び実技など多彩なプログラム内容で実施いたしました。

今後、７月頃に「フォローアップ研修」を実施予定です。

【受講風景１】※写真はご本人の承諾を得て掲載しております。

理事長からのお話（初日）

講義風景（外部講師）

講義風景（外部講師）

講義風景（外部講師）

講義風景（施設管理者）

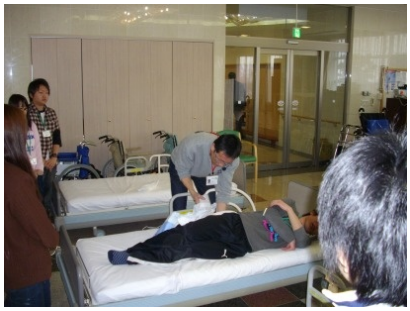
講義風景（施設管理者）

【受講風景２】

介護技術（実技）

介護技術（実技）

介護技術（実技）



介護技術（実技）

パソコン講習

口腔ケア

救命救急講習

救命救急講習

グループワーク発表

交流会（初日）

交流会（最終日）

昼　食

修了証の授与

研修棟

宿泊棟（ログハウス）

高齢者ケア研修センター　財田の杜

社会福祉法人幸清会・社会福祉法人大滝福祉会

平成 22 年度　合同新人職員研修カリキュラム

	時　　間		科　　目	目　　的	内　　容
1日目	09:00-10:00	60 分	研修のねらい	研修の目的と目標を示し、それに沿って研修のカリキュラムがどのように組み立てられているかを理解し、研修の方向性を明確にする。加えて研修の機会を情報交換、ネットワーク作りの場に活用することを促す。	・研修の目的。 ・目標の明示。 ・自己紹介。 ・研修の機会を、主体的、積極的に事故学習の場として活用する意義の明示。
	10:10-11:40	90 分	法人の沿革と職員として求められること	社会福祉法人幸清会並びに大滝福祉会について、所属する一員として理解を深める。	・法人の沿革。 ・法人各事業所の紹介。 ・社会福祉法人の役割。
	11:40-12:40	―昼休み―			
	12:40-14:10	90 分	法人の理念と方針	法人の理念について、その必要性と重要性を理解し、理念の実現に向けて取り組む姿勢を養う。	・経営理念。 ・ケア理念。 ・運営方針。
	14:30-16:00	90 分	マナーについて	社会人として最低限必要な心構えと、介護職員に求められる接遇について理解し、対家族、対職員への信頼関係を築くための適切なマナーを身に付ける。	・接遇。 ・信頼関係を築くためのマナー。
	16:00-16:30	30 分	振り返り・交流会	この日の研修の学びをグループごとに振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する。 （交流会）	・グループごとに満バーがこの日の研修の感想等について意見交換する。 ・メンバー間の情報交換。 ・交流会によるネットワーク作り。
2日目	09:00-12:00	180 分	生活の流れに沿うケア	施設は、高齢者が生活する場であることを認識し、より良いケア環境を学ぶ。ユニットケアのあり方についても学ぶ。	・利用者一人ひとりの個性や生活リズムに沿ったケアのあり方について学ぶ。 ・ユニットケアの基本的な考え方を理解する。
	12:00-13:00	―昼休み―			
	13:00-15:00	120 分	パソコン講習（初心者･中級者･上級者別）	勤務上で必要な最低限のパソコン知識について学習する。パソコン経験者については、応用技術を学ぶこととする。	・経験年数を考慮した上で学習する。
	15:10-16:10	60 分	認知症高齢者家族への関わり	認知症の方を支えている家族の方々の現状等について学習する。	・認知症の方を持つ家族の理解。
	16:15-17:15	60 分	高齢者虐待防止	高齢者虐待防止法の対象となる虐待行為を学ぶとともに、不適切なケアを予防する為の知識を習得する。	・虐待の定義と具体的内容とその対応方法。 ・身体拘束の無いケアの方法。
	17:20-18:00	40 分	振り返り		

	時　　間		科　　目	目　　的	内　　容
3日目	09:00-10:30	90分	介護技術Ⅰ （福祉用具）	福祉用具の知識と取扱方法について学ぶこととし、間違った使用方法が利用者の苦痛に繋がることを理解する。	・福祉用具の種類を理解する。 ・福祉用具の取り扱いについて理解する。
	10:40-12:00	80分	介護技術Ⅱ （食事・排泄・入浴）	食事、排泄、入浴について、介護福祉士取得者と未取得者のグループに分かれて学習する。	・食事。 ・排泄。 ・入浴
	12:00-13:00	―昼休み―			
	13:00-17:00	240分	介護技術 （移動・動作）	利用者の移乗等に係る介護技術等について学ぶ。	
	17:00-18:00	60分	振り返り		
4日目	―入社式―				
	13:00-14:30	90分	社会福祉と介護保険の理解	今後の福祉施策の動向と介護保険について学ぶ。	・社会福祉施策 ・介護保険の理解
	14:40-15:40	60分	権利擁護について	高齢者虐待防止法の他に、高齢者の権利を擁護に必要な視点を法的な側面を含めて理解する。	・介護場面における権利擁護の理解。 ・法的な権利擁護の整理。 ・成年後見制度、個人情報保護、苦情相談。
	15:50-17:50	120分	高齢者の栄養管理について （食事）	高齢者の適切な栄養管理と栄養ケアマネジメントの実際を学ぶとともに、実際の調理について実習する。	・疾病、栄養状態に応じた食事。 ・嚥下・咀嚼機能に応じた食事 ・栄養ケアマネジメントの理解。 ・調理実習。
	17:50-18:20	30分	振り返り　交流会		
5日目	09:00-11:30	150分	高齢者の疾病と医療行為	高齢者に多くみられる疾病について理解を深める。また、介護現場における医療行為にあたることについて確認する。	・疾病の種類と症状。 ・医療行為。 ・医療機関との連携。
	11:30-12:30	―昼休み―			
	12:30-14:00	９０分	コンプライアンス（法令遵守）及び法人諸規定の説明	法人職員として、各種法令及び社内規程並びに社会的ルール等の遵守について理解する。	・就業規則等の法人諸規程の説明。 ・コンプライアンスの遵守の説明。
	14:10-17:40	210分	救命救急と防災	救命に係る知識と技術を修得する。 火災等の災害を予防する対策について確認する。	・普通救命講習の受講 ・防災に関する知識を身に付ける。
	17:40-18:00	20分	振り返り		

	時　　間		科　　目	目　　的	内　　容
6日目	09:00-11:00	120 分	認知症についての理解	我が国の認知症介護の歴史的経過と現在の方向性を把握し、認知症の人の生活のし難さを捉え、介護の目的、権利擁護	・従来の認知症介護の歴史と課題、方向性を明示。 ・認知症のメカニズムについて。 ・認知症の人の生活障害の確認。 ・認知症高齢者への適切な対応について考える。
	11:00-12:00	60 分	高齢者におこりやすい症状	高齢者におこりやすい症状について学ぶとともに、緊急時の対応について考える。	・脱水。 ・骨折。
	12:00-13:00	―昼休み―			
	13:00-14:30	90 分	感染症の理解	高齢者が利用する事業所として求められている感染症予防対策と、感染症についての基礎知識を身につける。	・感染症対策の基礎知識。 ・施設における感染管理体制。 ・インフルエンザ。 ・ノロウイルス。 ・疥癬、結核、ＭＲＳＡ。
	14:40-16:40	120 分	口腔ケアについて	高齢者の口腔ケアのあり方について、基礎知識を身につける。	・感染リスク増加の予防を目的とした口腔ケア。 ・窒息防止の予防策。 ・義歯の洗浄。
	16:40-17:10	30 分	振り返り　　交流会		
7日目	09:30-11:00	90 分	サービス展開のためのリスクマネジメント	介護職員として、日常生活場面で生じうる高齢者の抱えるリスクを理解し、介護を展開する際に、リスクマネジメントを具体的に展開していく技能を身につける。	・リスクについての基本的理解。 ・生活場面において生じる認知症の人のリスク。 ・リスクマネジメントの基本的な考え方。 ・リスクの予測・回避のための対応策（分析・評価）等の技能を身につける。
	11:00-12:00	―昼休み―			
	12:00-13:30	90 分	メンタルヘルスについて	組織内の対人関係と介護の維持向上のため、職員のメンタルヘルスやストレスマネジメントの内容と方法を理解し、実践できる技能を身につける。	・ストレスとは何か。 ・ストレスを感じる「心」とは。 ・職場のメンタルヘルス。
	13:40-15:10	90 分	認知症高齢者とのコミュニケーション	対人援助の基礎として必要なコミュニケーションの重要性を理解し、コミュニケーションの基礎的な技法とマナーを身につける。	・コミュニケーションスキルの認識 ・利用者やご家族との効果的な関わり。
	15:10-16:00	50 分	振り返り		